

ものづくり実践セミナーご案内

環境配慮設計 / グリーン調達 / RoHS指令 / ELV指令 / REACH規則 / JAMP / GHS

REACH等の環境法規から見る 製品含有化学物質管理とは

～その場しのぎでは生き残れない。最新ECOソリューションで製品環境規制をビジネスチャンスに～

IEC/TC111 (国際電気標準会議 / 電気・電子関係の環境国際標準化委員会)

議長 (森 紘一氏) の立場から、REACHなど環境規制について語る

リオン株式会社様 RoHS対象除外から対象へ、迫りくる規制に先手をとって挑む

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

欧州ELV指令施行に続き、昨年7月にはRoHS指令、本年3月には中国版RoHSの施行。また、EUではREACH規則が今年6月1日に施行されるなど、化学物質の規制が本格的になってきており、化学物質を使用した製品を数多く輸出している日本企業にも対応が迫られています。そのような経営環境の中で、世界的に企業の法令順守あるいは企業倫理の問題に関心が高まり、社会的責任を自覚し、経済面、環境面、社会面でバランスの取れた経営が一層求められています。本セミナーでは、環境規制の最新動向、ITを活用した製品含有化学物質管理の事例を交えてご講演いたします。

ご多用中の折とは存じますが、万障お繰り合わせの上、是非ご来場賜りますようお願い申し上げます。

敬具

(株)富士通長野システムエンジニアリング

日時:平成19年8月24日(金) 13:30～17:30 (13:00受付開始)

会場:東京コンファレンスセンター・品川(コンファレンスルーム 406号室)

参加費: **無料** (事前登録制)

定員:100名 *定員になり次第締め切らせていただきます

交通アクセス:JR 品川駅 港南口(東口)より徒歩2分

住所:東京都港区港南1-9-36 アレア品川



基調講演

『各国の環境規制と国際標準化 経営リスクから事業を守るためには』

IEC/TC111(国際電気標準会議/電気・電子関係の環境国際標準化委員会)

議長 森 紘一氏 (富士通株式会社)

お客様講演

『医療機器/計測機器メーカーの製品含有物質管理システムの構築』

リオン株式会社

技術統括部 聴能技術部 部長 成沢 良幸 様

最新環境ソリューションご紹介

『業種動向から見る「ITを活用した含有化学物質管理」のゆくえ』

(株)富士通長野システムエンジニアリング PDMソリューション部 荒木 潤

*上記プログラムは予告なく変更となる場合がございます。

主催:(株)富士通長野システムエンジニアリング 協賛:富士通株式会社

対象:製造業等

お申込み方法:裏面をご参照願います



お申し込み方法

以下のいずれかの方法でお申し込みくださいますようお願い申し上げます。

- Web申し込み : <http://jp.fujitsu.com/fns/events/20070824.html>
- E-mail申し込み : fns-tokyo-info@ml.jp.fujitsu.com

お名前・貴社名・ご所属/役職・ご住所・TEL・E-mailをご記入の上、
件名に「8月24日ものづくり実践セミナー申し込み」とご記入いただきお申し込みください

個人情報の取り扱いについて
お申込み時の個人情報につきましては、当社及び富士通株式会社、本セミナーの受付手続に利用し、それ以外の目的では利用いたしません。また、本セミナーを通じて取得させていただく個人情報は、当社の個人情報保護方針に基づき、適切・安全に管理いたします。 (<http://jp.fujitsu.com/group/fns/privacy/>)
取得させていただいた個人情報の、内容の開示・訂正・削除・利用停止につきましては、お申込みされた御本人が、書面・電話・Eメール等で求めることができます。
個人情報に関するお問合せ先: (株)富士通長野システムエンジニアリング 東京事業所 部長 宮下一裕
埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-9-1 048-649-2888
(e-Mail: fns-privacy@cs.jp.fujitsu.com)



講演詳細情報

時間	内容
13:35 ~ 13:40	ご挨拶
基調講演 13:40 ~ 14:50	『各国の環境規制と国際標準化 - 経営リスクから事業を守るためには -』 IEC/TC111 (国際電気標準会議/電気・電子関係の環境国際標準化委員会) 議長 森 紘一 氏 (富士通株式会社) IEC/TC111の標準化は、規制化学物質関係(測定法、試験用サンプル作成に関するガイドライン、規制適合性ガイドラインなど)と、エコデザイン関係(環境配慮設計、規制化学物質開示法など)について進められており、リサイクルなどの3Rについても検討されています。欧州の環境規制(WEEE、RoHS、EuP、REACH)の状況、中国の規制の方向性、IEC/TC111における標準化動向をご紹介します。
休憩 (14:50 ~ 15:10)	
お客様事例 15:10 ~ 16:10	『医療機器 / 計測機器メーカーの製品含有化学物質管理システムの構築』 リオン株式会社 技術統括部 聴能技術部 部長 成沢 良幸 様 地球環境の保全は、人類共通の重要課題である。この“かけがえのない地球”を健全に維持することは、我々一人ひとりの責務である。企業活動を通して、常に環境保全に配慮し、人に、社会に、地球に、優しい製品及びサービスを提供することが必須となってきております。リオン株式会社では、医療機器及び計測機器メーカーとして、その事業活動並びに市場に提供する製品及びサービスにかかわる環境影響を適切に認識、評価し、社内外の環境負荷の低減に取り組んでいます。 本講演では、同社の製品含有化学物質管理システム構築の事例を中心に、EU-RoHSの適用除外であるカテゴリ-8、9に該当する医療機器及び計測機器製品メーカーにおける、各種の規制及び産業界の要求への対応とそのあり方等についても併せて紹介いたします。
ソリューション紹介 16:10 ~ 17:20	『業界動向から見る「ITを活用した含有化学物質管理」のゆくえ』 (株)富士通長野システムエンジニアリング PLMソリューション事業部 PDMソリューション部 荒木 潤 環境法規制やメーカー規制等が強まる中、含有化学物質の管理に取り組む企業は多い。しかし、企業の大半は調査回答業務に追われ、収集したデータを活用しきれていないのが現状である。 市場に出荷している製品の調査回答の仕組みは「待ちの環境戦略」である。市場に出荷する時には含有化学物質を把握し、有害物質を含んでないことを保証していく必要があり、そのためには、設計段階からの環境評価が重要となってくる。これが勝ち組企業へのターニングポイントであり、「攻めの環境戦略」である。 本セッションでは、含有物質管理の今後の行方と環境配慮設計の重要性、あるべき姿、課題及び推進上の留意点について講演する。
質疑応答	

* 上記プログラムは予告なく変更となる場合がございます。

(お問合せ先)
 (株)富士通長野システムエンジニアリング
 東京事業所
 TEL:048-649-2888 FAX:048-649-1880
 セミナー事務局: 清水、曽根